回答要領（水質汚濁実態調査）

回答方法

ウェブ上の回答フォームに回答をご入力ください。
〈ＵＲＬ〉　https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/eWYSJFMX

回答サイト

上記による回答が難しい場合、調査票をダウンロードのうえ、
メールにて送付ください。
〈メール〉　akankyohozen@pref.toyama.lg.jp

記入方法

事業場情報

・　「工場・事業場名」及び「所在地」は、封書に記載の工場・事業場名をご記入ください。
なお、訂正が必要な場合は訂正後の工場・事業場名及び所在地をご記入ください。
・　ウェブサイト上で入力する場合、電話番号には「-」（ハイフン）を使用してください。

問１　排水の実態

貴事業場の排水実態について、次の①～②から該当するものを選んでください。

① 排水（雨水を除く。）を公共用水域に排出し、排水量は 50㎥/日以上である。
② 排水（雨水を除く。）を公共用水域に排出し、排水量は 50㎥/日未満である。

・①の場合、問２へお進みください。
・②の場合、問３へお進みください。

問２　排水量や排水水質

〇排水口名称

記入対象は、事業場から公共用水域に排出される「工程排水」、「生活系排水」又は「冷却水」の排水口とし、雨水のみの排水口、下水道への排水口は除きます。
排水の種類が明確な場合は、排水口名称の欄にその種類もご記入ください。
【記入例】No.2 排水口（生活系排水）

〇排出先（河川・湖沼・海域等）の名称

表１の本川、支川、湖沼又は海域の名称のうち、最初に流入する場所を選択ください。
なお、ウェブサイトで入力する際は、プルダウンから選択してください。
【例】排水口→△△用水→千保川→小矢部川→富山湾の場合、「千保川」を選択

〇排水量

１日当たりの排水量（通常時）の年平均値をご記入ください（単位：㎥/日）。
なお、ウェブサイトで入力する際、「，」（コンマ）は使用できません。

〇水質（ＣＯＤ、ＢＯＤ、全窒素、全りん）

貴事業場で測定された項目について、平均値をご記入ください（単位：mg/L）。
「ＮＤ」「検出下限値未満」等の場合は、検出下限値をご記入ください。
なお、未測定の場合は空欄としてください。

表１　排出先一覧

本川	支川
阿尾川	
余川川	
上庄川	
仏生寺川	湊川
小矢部川	千保川、祖父川、山田川
庄川	和田川
内川	
下条川	
新堀川	
神通川	宮川、高原川、いたち川、松川、井田川、熊野川
富岩運河	
岩瀬運河	
常願寺川	
白岩川	栃津川

本川	支川
上市川	
中川	
早月川	
角川	
鴨川	
片貝川	布施川
黒瀬川	
高橋川	
吉田川	
黒部川	
入川	
小川	舟川
木流川	
笹川	
境川	

海域	富山湾、富山新港

湖沼	有峰湖、桂湖、黒部湖

値の増減

排水量、汚濁負荷量（排水量×水質）が前年から 20%以上増減した場合は、理由をご記入ください。（○○工程の廃止、排水処理能力の増強など）

【記入例】施設の増設により、No.2 排水口の排水量が 20㎥/日増加した。

問３　排出抑制対策

貴事業場における窒素、りん、ＢＯＤなどの排出抑制対策について、実施している場合は①～⑤から該当するもの（複数回答可）に、実施していない場合は⑥に「○」をご記入ください。

ウェブサイトで記入される場合は、排出抑制対策の有無を記入し、排出抑制対策を実施している場合はその内容をご記入ください。

① 生産プロセスの改善（原材料の変更、製造方法の改善など）
② 排水処理方法・設備の改善
③ 排水の循環利用（リサイクル）
④ 下水道への接続
⑤ その他
⑥ 排出抑制対策を実施していない。

問４　大腸菌数対策

問４は、貴事業場が畜産業若しくは旅館業の場合又はし尿処理施設若しくは下水道終末処理施設を有する場合にご回答ください。該当しない場合は問５にお進みください。

貴事業場における大腸菌数濃度の測定結果について、ご記入ください。また、大腸菌数低減対策について、実施している場合は①又は②から該当するもの（複数回答可）に、実施していない場合は③に「○」をご記入ください。

ウェブサイトで記入される場合は、貴事業場が「畜産業若しくは旅館業の場合又はし尿処理施設若しくは下水道終末処理施設を有する」に該当するか否かをご回答いただき、その後、大腸菌数濃度の測定結果、大腸菌数対策の有無、その内容をご記入ください。

① 塩素消毒
② その他
③ 大腸菌数対策を実施していない。

※令和７年４月１日から水質汚濁防止法の一部改正により「大腸菌群数」が「大腸菌数」に見直しされています。

問５　環境保全活動

貴事業場における環境保全活動について、実施している場合は①～④から該当するもの（複数回答可）に、実施しえていない場合は⑤に「○」をご記入ください。

ウェブサイトで記入される場合は、環境保全活動の有無を記入し、環境保全活動を実施している場合はその内容をご記入ください。

① 事業場周辺・用水路・海岸などの清掃活動
② 水源地域などでの森づくり活動
③ 地域住民などへの環境教育・普及啓発活動
④ その他
⑤ 環境保全活動を実施していない。

問６　環境保全団体との連携

各種団体が行う環境保全活動（清掃活動、森づくり活動、環境教育・普及啓発活動等）への協力、連携の意向について、①～④から該当するものをご記入ください。

① 積極的に協力、連携
② 条件が合えば協力、連携
③ 協力、連携は困難
④ 特に考えていない

その他

来年度調査について、電子メールでの依頼が可能かご回答ください。可能な場合、担当部署と送付先メールアドレス（１年後も受信可能なアドレス）をご記入ください。

ご不明な点などがございましたら、事務担当へお問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

＜ご参考＞　特定施設の変更届等の手続きについて

水質汚濁防止法に基づく変更届等の手続きが必要ないか、届出済の内容をご確認ください。

県（富山市内の工場又は事業場の場合は富山市）に届け出ている内容から、施設の構造等を変更しようとする場合のほか、氏名等の変更や施設の廃止、承継があった場合には届出が必要となります。

○届出の様式・記入例

https://www.pref.toyama.jp/1706/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00018358/kj00018358-001-01.html

富山県　水質汚濁防止法に基づく届出　検索

○届出・相談窓口

＜富山市以外の場合＞　富山県生活環境文化部環境保全課　TEL：076-444-3146

＜富山市内の場合＞　富山市環境部環境保全課　TEL：076-443-2086

＜事務担当（本調査の回答先）＞
富山県 生活環境文化部 環境保全課 水質保全係　安部
住　所：〒930-0005 富山市新桜町５－３　第２富山電気ビル８階
ＴＥＬ：076-444-3146
ＦＡＸ：076-444-3481
E-mail：akankyohozen@pref.toyama.lg.jp
ＵＲＬ：https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/eWYSJFMX